令和６年度　数理・データサイエンス・AI 教育プログラム
自己点検・自己評価

修文大学では、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（MDASH）について、自己点検・評価委員会を中心とした全学的な体制のもと、令和６年度の自己点検・自己評価を実施した。本学では、健康栄養学部・看護学部・医療科学部の３学部において、情報リテラシー、統計学、データサイエンス、AI 活用に関する科目を体系的に配置し、段階的な学修が可能な教育課程を構築している。

令和６年度の学生による授業評価アンケート結果では、数理・データ・AI 関連科目である「情報処理演習Ⅰ」「データサイエンス（演習）」「統計学」「保健統計学」「情報科学」の各科目平均において、おおむね 4.2～4.8 と高い水準を示した。さらに、授業態度や主体的学習に関する項目では、「授業が分かりやすい」「有益な知識・技能が得られた」といった肯定的評価（「強く思う」「思う」）が約８～９割を占めており、学生の学修到達度および教育効果は概ね良好であると判断した。

これらの結果を踏まえ、本プログラムは、教育内容・実施体制・学修成果・質保証の各観点から概ね適切に運用されていると総合的に評価する。今後も本学の教育 DX の進展を踏まえ、数理・データ・AI 教育の一層の充実と高度化を図っていく。